

(西暦) 2014年9月16日

小児リウマチ性疾患の診断・治療のための新規バイオマーカー確立のため当院に入院・通院されていた患者さんの残血清を用いた 臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属	リウマチ科	職名	科長
	氏名	三好 麻里		
	連絡先電話番号	0787326961		
実務責任者	所属	リウマチ科	職名	医長
	氏名	中岸 保夫		
	連絡先電話番号	0787326961		

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、中岸までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦2004年1月1日より2013年12月31日までの間に、リウマチ・アレルギー科にて若年性特発性関節炎などの小児リウマチ疾患の診断、治療のため入院または通院し、診療、検査を受けた方

2 研究課題名

小児リウマチ疾患の診断・治療のための新規バイオマーカー確立に関する研究

3 研究実施機関

研究責任者	愛知医科大学医学部小児科	准教授	鬼頭敏幸
研究分担者	愛知医科大学病院小児科	助教	北川好郎
研究協力者			
愛知医科大学病院小児科		助教	北川好郎
あいち小児保健医療総合センター 感染免疫科		部長	岩田直美
聖隷浜松病院小児科		部長	松林 正
京都大学医学部附属病院小児科		講師	八角高裕
兵庫県立こども病院 アレルギー・リウマチ科		科長	中岸保夫
滋賀県立小児保健医療センター小児科		部長	楠 隆
金沢大学医薬保健研究域医学系血管発生発達病態学		教授	谷内江昭宏

4 本研究の意義、目的、方法

若年性特発性関節炎、乾癬性関節炎、全身性エリテマトーデス、血管炎症候群(高安動脈炎、IgA血管炎)、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)に代表される小児リウマチ疾患は、希少疾患であり診断が困難である。診療のために過去に採取された血液の残りをを用いて、血漿中可溶性レクチン様酸化 LDL 受容体-1、血漿中ペントラキシン 3、血清インターロイキン-6、血清インターロイキン-18、血清ヘムオキシゲナーゼ-1 が診断の手掛かりになるのか研究する。

本研究は多施設共同研究であり、愛知医科大学医学部小児科を中心に、過去に採取された血液の残りをを用いた検査が行われる。当院では過去に採取された血液の残りを提供するが、対象の検査は実施しない。

5 協力をお願いする内容

過去に採取された血液の残りを提供していただくため、新たに血液の採取をお願いすることはありません。

6 本研究の実施期間

西暦 2014年 月 日(倫理審査承認日) ~ 2017年 3月 31日(予定)

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

【中岸保夫・兵庫県立こども病院リウマチ科・078-732-6961、平日 9:00-17:00 まで】

以上